

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

ESGデータ集

会社基本情報	226
環境データ	228
社会性データ	250
ガバナンスデータ	255

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

会社基本情報

GRI102-2 GRI102-3 GRI102-7

会社概要

設立	1933年12月26日
本社所在地	神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号
事業内容	日産グループは、日産自動車株式会社とその子会社、関連会社等で構成されています。自動車およびその部品の製造・販売を主な事業内容としており、さらに同事業に関連する「物流」「金融」をはじめとした各種サービス活動を展開しています。
ブランド	ニッサン、インフィニティ、ダットサン
連結従業員数 (2021年3月末時点)	131,461人
グローバル拠点 (2021年3月末時点)	<p>研究開発拠点：16市場 (日本、米国、メキシコ、英国、スペイン、ベルギー、ドイツ、ロシア、中国、台湾、タイ、ベトナム、インド、南アフリカ、ブラジル、アルゼンチンに計45カ所)</p> <p>デザイン拠点：5市場 (日本、米国、英国、中国、ブラジルに計7カ所)</p> <p>車両生産拠点：17市場、32拠点 (OEMからの供給(ルノー、三菱自動車、ふそう、スズキなど)は含まない)</p>

財務データ

(億円)

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	115,742	98,789	78,626
営業利益	3,182	▲ 405	▲ 1,507
経常利益	5,465	440	▲ 2,212
税金等調整前当期純利益	4,777	▲ 5,730	▲ 3,393
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,191	▲ 6,712	▲ 4,487
設備投資	5,099	5,092	4,054
減価償却費	3,778	3,729	2,703
研究開発費	5,231	5,448	5,035

財務データに関する詳細はこちらをご覧ください

<https://www.nissan-global.com/JP/IR/>

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-6 | GRI102-7

グローバル販売台数および生産台数

(千台)

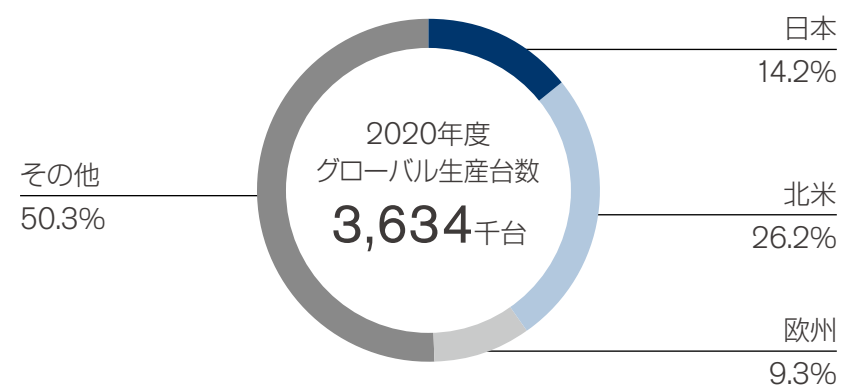
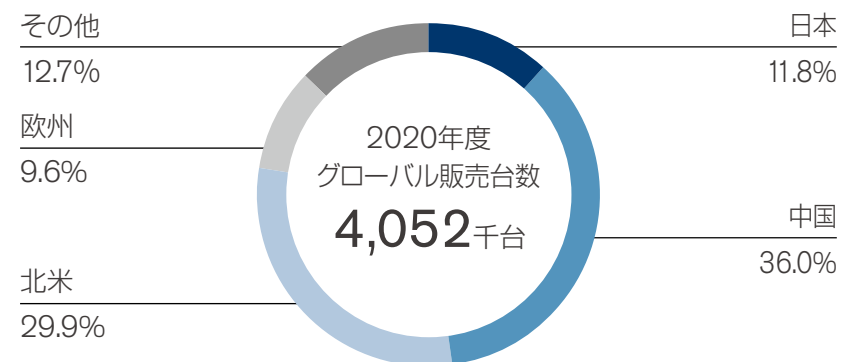
	2018年度	2019年度	2020年度
グローバル販売台数	5,516	4,930	4,052
日本	596	534	478
中国	1,564	1,547	1,457
北米	1,897	1,620	1,213
欧州	643	521	391
その他	816	708	513

(千台)

	2018年度	2019年度	2020年度
グローバル生産台数	5,362	4,757	3,634
日本	901	758	517
北米	1,587	1,340	953
欧州	661	508	336
その他	2,213	2,151	1,828

財務データに関する詳細はこちらをご覧ください

<https://www.nissan-global.com/JP/IR/>



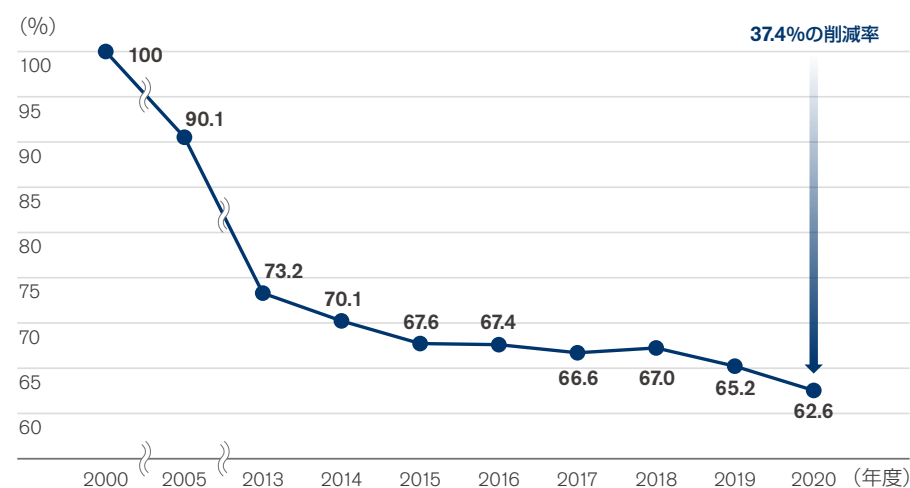
目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境データ

気候変動(製品)	228
気候変動(企業活動)	232
大気品質	239
資源依存(再利用)	241
資源依存(拠点の廃棄物)	242
水資源の管理	244
環境課題を踏まえた事業基盤の強化	246
マテリアルバランス	248
環境保全コスト	249

気候変動(製品)

新車からのCO₂排出量削減率(グローバル)*

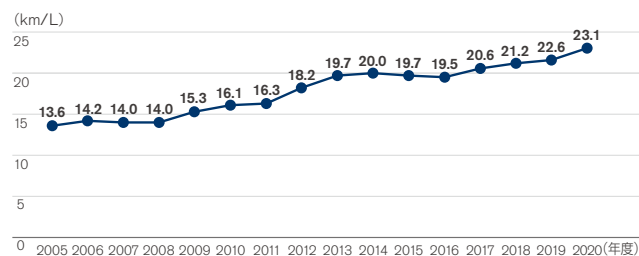


2020年度、日産の主要な市場である日本、米国、欧州、中国におけるCO₂排出量は企業平均燃費ベースで2000年度に比べ37.4%改善しました。特に米国や欧州の新型車の投入による燃費の向上により、2019年度に比べて改善しました。

* CO₂削減率は社内規定の方法で算出しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

日本における企業平均燃費 (CAFE、JC08モード)

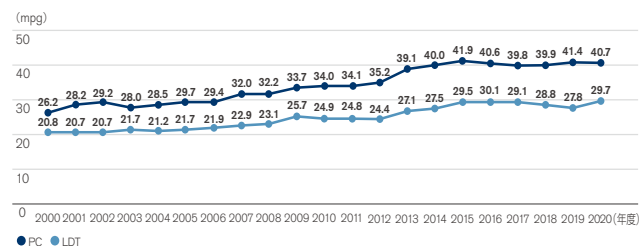


2020年度の日本における企業平均燃費は、23.1km/Lとなりました。これは、「日産キックス」

などのe-POWER車の販売割合の増加が貢献しており、2019年度に比べて2%の改善を達成しました。

* 社内で算出した暫定値を使用しており、一部車種にWLTCモードの燃費値を含みます

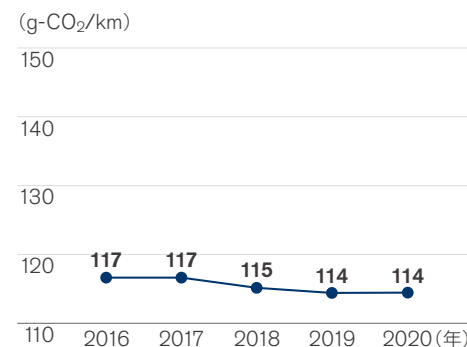
米国における企業平均燃費 (CAFE)



2020年度の米国における乗用車の企業平均燃費は40.7mpgとなり、2019年度に比べて2%悪化しま

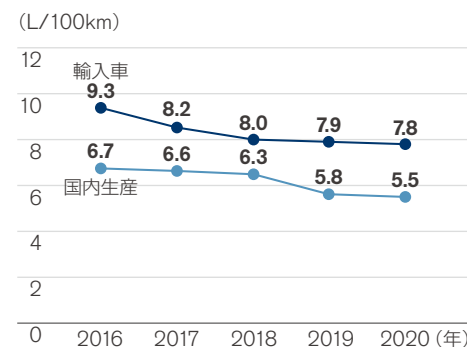
した。小型トラックのセグメントにおいては新型車の投入により、企業平均燃費は27.8mpgから29.7mpgに7%向上しました。

欧州における車両平均CO₂排出量



2020年の欧州における車両平均CO₂排出量は、2019年と同じとなりました。

中国における企業平均燃料消費量



2020年は国内生産分の燃費は約4%改善、輸入車の燃費が1%改善しました。国内生産分についてはEV車の導入拡大や燃費の向上によるものです。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

売上高、グローバル販売台数および生産台数データ

(億円)			(千台)			(千台)		
	2019年度	2020年度		2019年度	2020年度		2019年度	2020年度
売上高*1	112,176	91,087	グローバル販売台数*2	4,930	4,052	グローバル生産台数*2	4,757	3,634
			日本	534	478	日本	758	517
			北米	1,620	1,213	北米*3	1,340	953
			欧州	521	391	欧州*4	508	336
			アジア	1,821	1,649	アジア*5	1,991	1,737
			その他	434	320	その他*6	160	91

*1 中国合弁会社比例連結ベース

*2 グローバル販売台数およびグローバル生産台数の中国・台湾については、1 - 12月ベースの数字

*3 米国、メキシコの生産台数

*4 英国、スペイン、ロシア、フランスの生産台数

*5 台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、中国、インド、韓国の生産台数

*6 南アフリカ、ブラジル、エジプト、アルゼンチンの生産台数

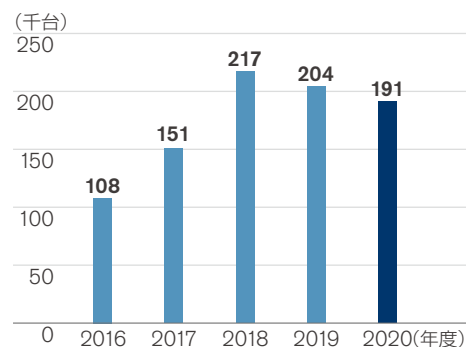
パワートレイン比率 (出荷台数ベース)

	単位	ガソリン車	ディーゼル車	e-POWER車	電気自動車	ハイブリッド車	天然ガス車
日本	%	34.5	2.3	26.2	1.9	35.1	0.1
北米	%	98.9	0.2	0.0	0.9	0.0	0.0
欧州	%	72.2	18.2	0.0	9.6	0.0	0.0
その他	%	93.3	5.5	0.1	0.7	0.4	0.0
グローバル	%	85.3	4.7	3.4	1.8	4.7	0.0

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

EV

100%EVおよび「e-POWER」販売台数*

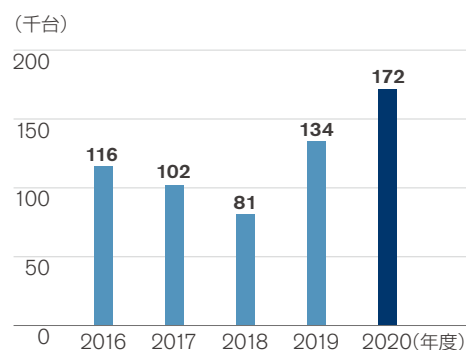


* 中国合弁会社による販売台数を含む

ハイブリッド車

GRI102-49

ハイブリッド車台数(出荷台数ベース)

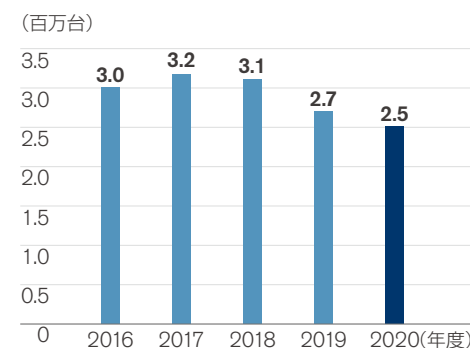


2020年は日本の軽自動車への拡大により台数が増加しました。

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

エクストロニックCVT*搭載車

エクストロニックCVT搭載車販売台数



2020年度のCVT搭載車の販売台数は247万台で、累計販売台数は3,240万台となりました。

* CVT: Continuously Variable Transmission (無段変速機)

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

気候変動（企業活動）

エネルギー投入量

GRI102-49 GRI305-1 GRI305-2 GRI305-4 GRI305-5

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*3	2020
合計	MWh	10,189,082	9,532,840	9,252,737	8,313,893	7,655,514
地域別						
日本	MWh	4,497,562	4,084,912	3,700,532	3,438,939	3,015,419
北米	MWh	2,643,303	2,452,299	2,570,438	2,180,450	1,909,902
欧州	MWh	1,093,103	1,126,186	1,048,201	913,521	888,089
その他	MWh	1,955,115	1,869,443	1,933,566	1,780,983	1,842,105
エネルギー源別						
一次エネルギー						
天然ガス	MWh	3,537,674	3,701,640	3,579,998	3,079,723	3,089,803
LPG	MWh	249,426	179,945	191,405	175,559	144,478
コークス	MWh	217,431	218,618	200,527	154,961	100,144
灯油	MWh	209,232	147,522	113,200	90,078	69,618
ガソリン	MWh	303,040	299,000	259,045	243,166	184,021
軽油	MWh	57,488	48,259	53,074	23,246	25,315
重油	MWh	43,853	27,652	15,995	16,303	22,816

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*3	2020
敷地外						
電力(購入)	MWh	5,247,663	4,755,897	4,711,467	4,384,282	3,851,011
うち再生可能 エネルギー*1	MWh	157,226	133,212	135,574	123,225	181,815
冷水	MWh	12,919	6,661	7,487	5,086	3,530
温水	MWh	4,690	5,000	5,000	2,706	2,635
蒸気	MWh	136,593	128,038	102,324	125,662	96,960
敷地内						
電力 (自家発電)	MWh	11,847	14,609	13,214	43,668	65,183
うち再生可能 エネルギー*2	MWh	11,847	14,609	13,214	43,668	65,183
うち再生可能 エネルギー総量	MWh	169,073	147,821	148,788	166,893	246,998

*1 日産が購入した電力における再生可能エネルギー量

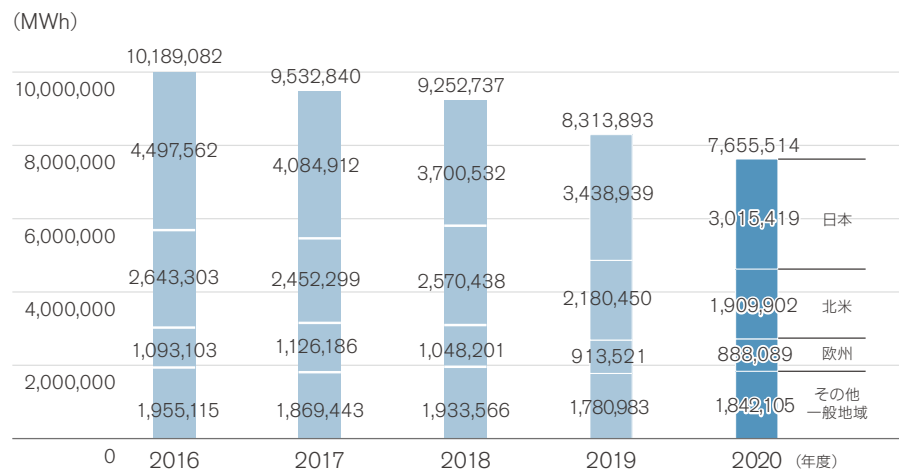
*2 日産が拠点内で発電し自社で消費した再生可能エネルギー量

*3 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49

エネルギー投入量推移



2020年度の日産のグローバル企業活動における総エネルギー使用量は7,656千MWhとなり、2019年度に比べ、8%の減少になりました。各拠点の生産台数の減少が主な要因です。生産過程におけるエネルギー使用量は6,513千MWh*でした。

★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

[>>> P102](#)

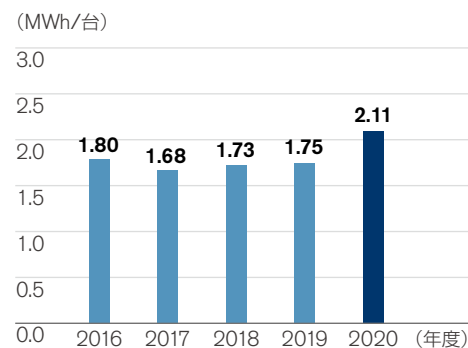
* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

GRI302-1

GRI302-3

GRI302-4

エネルギー消費量（生産台数当たり）



2020年度の生産台数当たりのエネルギー消費量は2.11MWhとなり、2019年度より20.5%増加しました。

日本の数値には、海外で組み立てて使用するパワートレインや他の部品の製造を含みます。分母の数はそれぞれの地域で製造された生産台数であるため、数値が高くなることがあります。

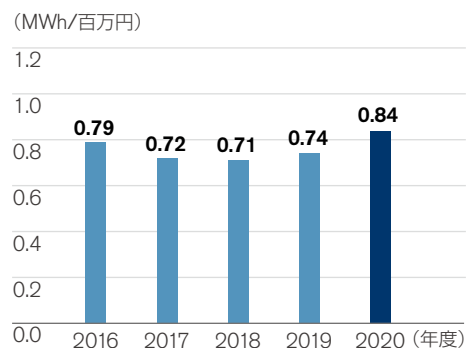
地域別	単位	2020
日本	MWh/台	5.83
北米	MWh/台	2.00
欧州	MWh/台	2.64
その他	MWh/台	1.01

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI302-1 GRI302-3 GRI302-4

GRI102-49

エネルギー消費量 (売上高当たり)



2020年度の売上高当たりのエネルギー消費量は0.84MWhとなり、2019年度と比較し、13%の増加となりました。企業として経済成長がエネルギー使用に及ぼす影響を最小化する取り組みを継続しています。

企業活動におけるカーボンフットプリント

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
スコープ1	t-CO ₂	963,661	912,476	889,444	774,163	737,683
スコープ2	t-CO ₂	2,614,028	2,394,109	2,339,883	2,105,700	1,804,759
スコープ1と2	t-CO ₂	3,577,689	3,306,584	3,229,327	2,879,864	2,542,442
日本	t-CO ₂	1,579,089	1,333,335	1,208,303	1,147,686	923,892
北米	t-CO ₂	823,340	683,332	738,234	648,754	647,465
欧州	t-CO ₂	176,285	228,998	221,692	163,553	156,441
その他	t-CO ₂	998,976	1,060,920	1,061,098	919,871	814,644
スコープ3	t-CO ₂	150,462,000	213,715,000	203,106,900	173,138,601	135,068,055

2020年度のグローバル拠点からのCO₂排出量は、スコープ1とスコープ2の合計で2,542千トンとなりました。生産過程におけるCO₂排出量は1,951千トン★ (スコープ1排出量599千トン★、スコープ2排出量1,353千トン★) になりました。

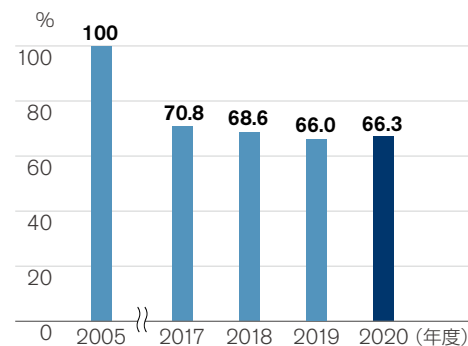
★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

[>>> P102](#)

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

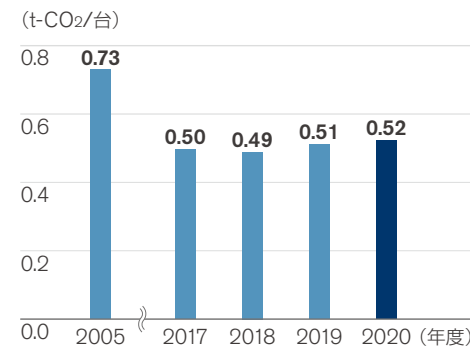
目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

企業活動からのCO₂排出量 (グローバル販売台数当たり)



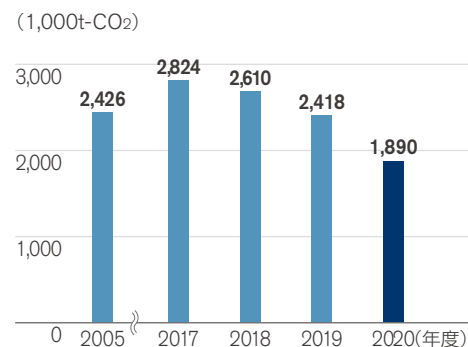
2020年度は、企業活動に伴うCO₂排出量が2005年度に比べ33.7%の削減となり、2022年の目標達成に向けて順調に推移しています。

生産活動からのCO₂排出量 (生産台数当たり)

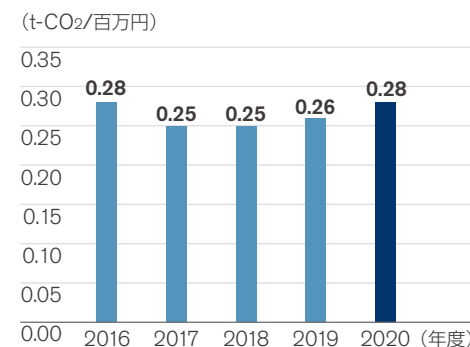


2020年度のグローバル生産台数当たりのCO₂排出量は0.52トンとなり、2005年度比で29.7%の削減率を達成しました。

生産活動におけるカーボンフットプリント



スコープ1と2のCO₂排出量 (売上高当たり)



2020年度のグローバル拠点からの売上高100万円当たりのCO₂排出量は0.28トンとなりました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

輸送量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
合計	百万tonkm	39,930	35,635	34,903	28,288	21,168
インバウンド*	百万tonkm	10,634	9,699	10,164	8,083	5,518
アウトバウンド*	百万tonkm	29,296	25,935	24,739	20,205	15,651
海上	%	60.9	57.6	60.9	63.8	60.2
トラック	%	24.8	25.9	23.3	23.0	25.0
鉄道	%	14.0	16.1	14.9	12.7	14.3
航空	%	0.4	0.4	0.9	0.6	0.5

* インバウンドには部品調達・KD(現地組み立て用)部品の輸送が、アウトバウンドには完成車・サービス部品の輸送がそれぞれ含まれます

2020年度はグローバル輸送量が前年比で25%減少し、211億トンキロとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響による日本、北米、欧州での生産台数減により、部品輸送量、完成車輸送量の減少が主な要因です。

物流からのCO₂排出量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
合計	t-CO ₂	1,926,477	1,567,248	1,482,982	1,144,338	891,817
インバウンド*	t-CO ₂	809,088	739,610	762,314	582,957	392,014
アウトバウンド*	t-CO ₂	1,117,389	827,638	720,667	561,381	499,803
海上	%	17.8	20.0	19.9	21.1	20.1
トラック	%	62.1	64.6	60.3	64.1	65.9
鉄道	%	5.6	7.0	6.7	5.9	6.7
航空	%	14.5	8.4	13.1	8.9	7.4

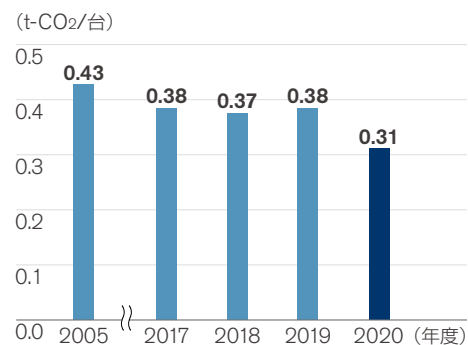
* インバウンドには部品調達・KD(現地組み立て用)部品の輸送が、アウトバウンドには完成車・サービス部品の輸送がそれぞれ含まれます

2020年度の物流からのCO₂排出量は22%減少し、89万1,817トンとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響による日本、北米、欧州での生産台数減により、部品輸送量、完成車輸送量が減少し、CO₂排出量を大きく削減しました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI305-3

物流からのCO₂排出量（輸送台数当たり）



2020年度は、輸送台数当たりのCO₂排出量は0.31トンとなりました。

カテゴリー別のスコープ3排出量

「温室効果ガス (GHG) 報告ガイドライン」に基づいた試算を行った結果、日産のスコープ3からのCO₂排出量の約90%は、製品であるクルマの使用によるものでした。

項目	単位	2020
1. 購入した製品・サービス	kt-CO ₂	12,726★
2. 資本財	kt-CO ₂	791
3. 燃料およびエネルギー関連活動	kt-CO ₂	264
4. 輸送、配送（上流）	kt-CO ₂	392
5. 事業から出る廃棄物	kt-CO ₂	126
6. 出張	kt-CO ₂	27
7. 雇用者の通勤	kt-CO ₂	162
8. リース資産（上流）	kt-CO ₂	0
9. 輸送、配送（下流）	kt-CO ₂	560
10. 販売した製品の加工	kt-CO ₂	7
11. 販売した製品の使用	kt-CO ₂	119,431★
12. 販売した製品の廃棄	kt-CO ₂	272
13. リース資産（下流）	kt-CO ₂	309
14. フランチャイズ	kt-CO ₂	0
15. 投資	kt-CO ₂	0
合計	kt-CO ₂	135,067

★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

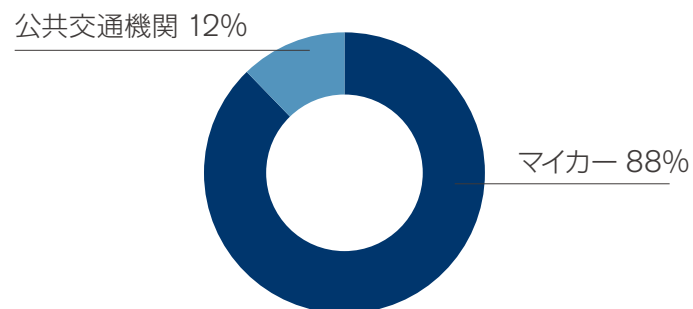
[>>> P102](#)

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

カーボנקレジット

欧州における排出権取引において、日産モトール・イベリカ会社（スペイン：バルセロナ、カンタブリア）の生産拠点が対象となっています。2020年度に認証を受けたクレジット量は2万6,153トンとなりました。

通勤からのCO₂排出量



日本では2013年度、マイカー通勤をしている全従業員を対象に、CO₂削減プログラムを導入し、エンジン搭載車から電気自動車への乗り換えを促進しています。2020年度のマイカー通勤によるCO₂排出量は約2万3,800トン*で、1台当たりの排出量は年間2.8トンです。

*自動車認証データおよび以下の条件に基づいて算出
 日本における自動車での通勤距離の平均：年間9,358km/台
 ガソリン車のCO₂排出係数（日本国温室効果ガスインベントリ報告書2009）：0.33 kgCO_{2e}/km
 電力のCO₂排出係数（東京電力株式会社（2019年度））：0.000441t-CO₂/kWh
 日本の事業所および製造工場の従業員が対象（2020年度）

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

大気品質

エミッション

GRI305-7 GRI306-4

2020年度に生産拠点から排出されたNOx、SOxの量は364トン、10トンになりました。2020年度は全体の生産量減少に伴い、NOx、SOxとも減少しています。

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
窒素酸化物 (NOx)	ton	430	619	418	380	364
硫黄酸化物 (SOx)	ton	31	36	34	14	10

揮発性有機化合物 (VOC) 排出量

2020年度のVOC 総排出量は4,742トンとなり、新型コロナウイルス感染症の影響による生産台数減のため2019年度より減少となりました。水系塗料、VOC含有率の低い物質への切り替えなどの活動は継続しています。

(年度)

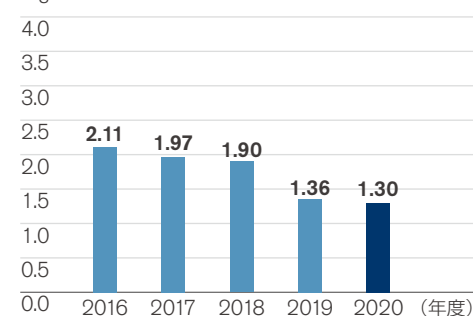
	単位	2016	2017	2018	2019	2020
合計	ton	11,933	10,564	8,433	6,465	4,742

日本	ton	3,580	3,232	2,188	2,016	1,420
北米	ton	4,851	4,284	3,847	3,135	2,294
欧州	ton	3,502	3,048	2,397	1,315	1,028

*再集計を実施し、2017年、2018年の排出量を訂正しました

VOC排出量 (生産台数当たり)

(kg/台)



2020年度の生産台数当たりのVOC排出量は1.30kgとなりました。

(年度)

地域別	単位	2020
日本	kg/台	2.74
北米	kg/台	2.40
欧州	kg/台	3.05

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49

PRTR対象物質排出量*(日本)

2019年度の化学物質排出移動量届出制度 (PRTR:Pollutant Release and Transfer Register) 対象物質の排出量は3,313トンで、2018年度に比べて減少となりました。

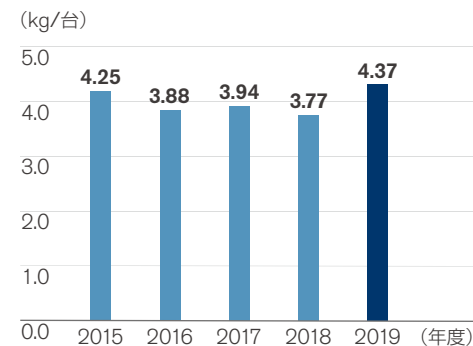
(年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
国内拠点合計 *1	ton	3,610	3,943	3,883	3,398	3,313
追浜工場	ton	488	872	796	715	1,022
栃木工場	ton	1,435	1,179	920	655	467
日産自動車九州株式会社	ton	1,173	1,406	1,697	1,573	1,391
横浜工場 *1	ton	12	17	20	25	21
いわき工場	ton	132	144	62	54	62
日産テクニカルセンター	ton	370	325	388	378	351

* 日本のPRTR のガイドラインに基づいて算出。PRTR 取扱量から製造品としての搬出量を除いた総排出量

*1 横浜工場の数字集計方法を他工場と統一したことにより、過去の数字に変更が生じています

PRTR 対象物質排出量 (生産台数当たり/日本)



2019年度の生産台数当たりのPRTR 対象物質排出量は4.37kgとなり、2018年度に比べ増加となりました。

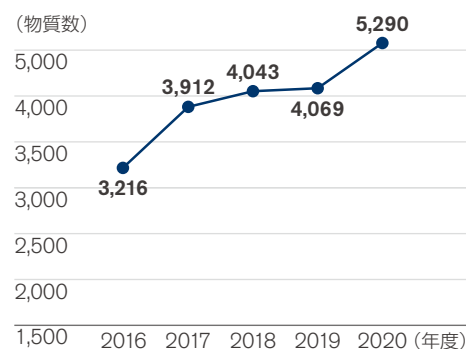
* 横浜工場の数字集計方法を他工場と統一したことにより、過去の数字に変更が生じています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

資源依存（再利用）

化学物質の適正な利用

GRI301-2 GRI301-3



ルノーとの提携のもとハザードやリスクの選定基準を法令遵守以上のレベルで見直しを行っており、世界で検討が進んでいる物質も積極的に制限しています。その結果、2020年度の指定化学物質数は5,290へと増加しています。

これは将来のリペア、リユース、リビルト、リサイクルといった資源の循環に必要な取り組みと考えています。

* 化学物質のガバナンスに関する詳細は以下のページをご覧ください

[>>> P093](#)

クルマでの再生樹脂の利用

日産はクルマへの再生樹脂の使用拡大を技術開発も含め取り組んでいます。2020年度は、日産車1台に使用する樹脂のうち再生樹脂の割合は5%となりました。この実績は欧州における最量販車をもとに算出しています。

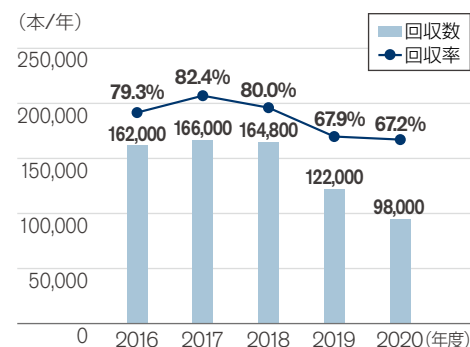
シュレッダーダストの最終処分率

日本の自動車リサイクル法に基づいてリサイクル率向上に取り組む拠点が増えた結果、使用済み自動車（ELV）より鉄類および非鉄金属を除いた自動車シュレッダーダスト（ASR）の最終処分率は、2020年度もゼロを達成しました。

材料比率

日産車に使用する材料は、重量比で鉄61%、非鉄13%、樹脂15%、その他12%（2020年実績）で構成されています。日産は、天然資源使用量をさらに低減するため、それぞれの材料に関し再生材の使用拡大に向けた取り組みを進めています。

バンパー回収本数推移



目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49

資源依存（拠点の廃棄物）

廃棄物発生量

GRI306-2

2020年度にグローバルに発生した廃棄物の量は15万3,160トンとなり、2019年度の19万9,470トン*より減少しました。

2020年度の生産工場の廃棄物発生量は14万5,529トン*となりました。

★ KPMGあずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P102](#)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
合計	ton	158,939	152,674	206,645	199,470	153,160

地域別内訳						
日本	ton	61,115	61,327	69,829	63,294	48,921
北米	ton	45,459	35,177	64,514	58,970	48,043
欧州	ton	41,110	45,268	49,662	50,205	31,868
その他	ton	11,255	10,903	22,639	27,001	24,328

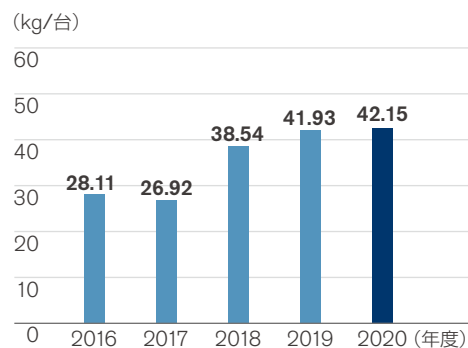
処理方法別内訳						
廃棄物最終処分量	ton	8,707	8,041	7,231	6,365	6,539
リサイクル量	ton	150,231	144,633	199,414	193,105	146,621

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

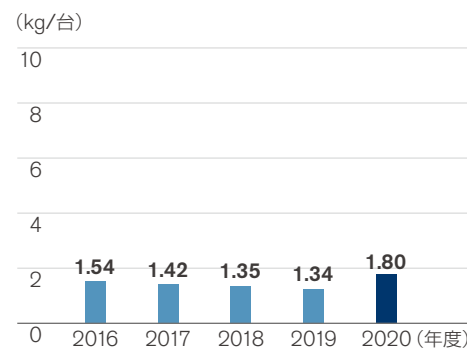
GRI102-49

廃棄物発生量 (生産台数当たり)



2020年度の生産台数当たりの廃棄物発生量は42.15kgに増加しました。

廃棄物最終処分量 (生産台数当たり)



2020年度の生産台数当たりの廃棄物最終処分量は1.80kgとなり、2019年度より増加しました。

(年度)

地域別	単位	2019	2020
日本	kg/台	83.50	94.62
北米	kg/台	44.01	50.41
欧州	kg/台	98.83	94.85
その他	kg/台	12.55	13.31

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

水資源の管理

企業活動での取水量

GRI102-49 GRI303-1 GRI303-3 GRI303-4

2020年度の企業活動における取水量は21,159千m³となり、2019年度より11%の減少となりました。また、生産工場の取水量は20,542,337m³*でした。

★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P102](#)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
合計	1,000m ³	29,118	26,197	26,420	23,656	21,159
日本	1,000m ³	15,563	13,115	13,022	11,918	10,797
北米	1,000m ³	5,483	4,905	4,930	4,768	3,888
欧州	1,000m ³	2,299	2,155	2,093	1,792	1,373
その他	1,000m ³	5,774	6,023	6,376	5,178	5,101

排水時のクリーン化を徹底

日産の各工場では、廃水処理の徹底を推進しています。

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
合計	1,000m ³	20,516	17,410	17,345	15,391	13,624
日本	1,000m ³	12,681	10,376	10,472	9,496	8,474
北米	1,000m ³	4,028	3,382	3,190	2,746	2,351
欧州	1,000m ³	1,767	1,564	1,539	1,389	1,094
その他	1,000m ³	2,040	2,088	2,143	1,760	1,705

水質

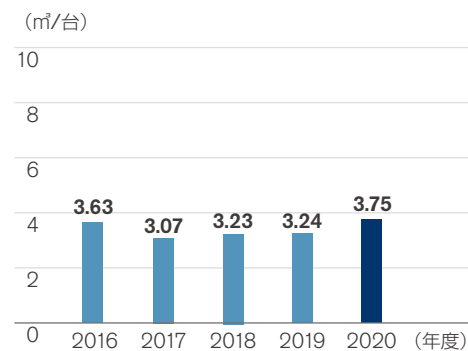
	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
化学的酸素要求量 (COD) 日本のみ	kg	29,730	26,451	21,149	18,795	14,865

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49 GRI303-4 GRI306-1

企業活動での排水量（生産台数当たり）



2020年度の生産台数当たりの排水量は3.75m³となり、2019年度に比べて16%の増加となりました。

地域別	単位	2019*	2020
日本	m³/台	12.53	16.39
北米	m³/台	2.05	2.47
欧州	m³/台	2.73	3.26
その他	m³/台	0.82	0.93

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

日本の数値には、海外で組み立てて使用するパワートレインや他の部品の製造を含みます。分母の数はそれぞれの地域で製造された生産台数であるため、日本の数値が他の地域よりも高くなる場合があります。

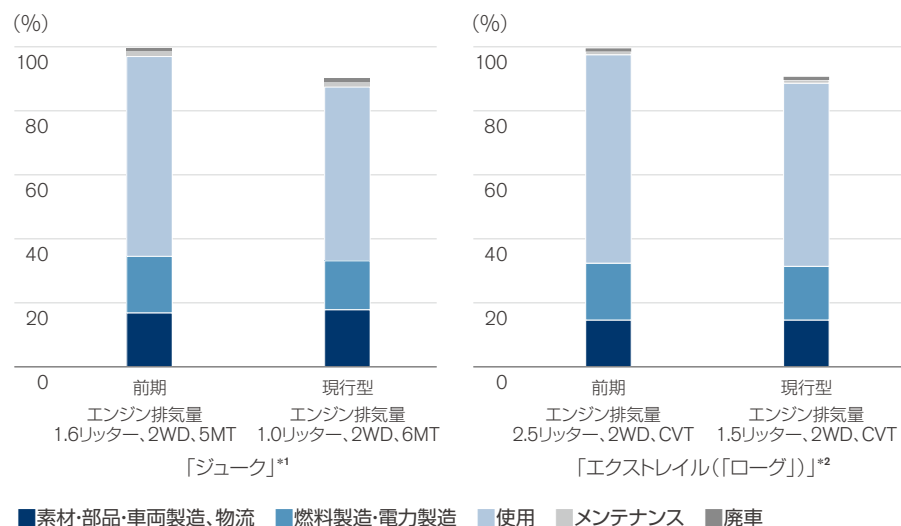
目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境課題を踏まえた事業基盤の強化

グローバルトップ販売モデルのLCA改善

日産はLCA手法の適用を進め、環境負荷の定量的な把握範囲を、影響の大きいグローバルのトップ販売モデルへと広げており、台数ベースでのカバレッジは、グローバルで約80%、欧州では約90%に達しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量 (CO₂, CH₄, N₂O など)



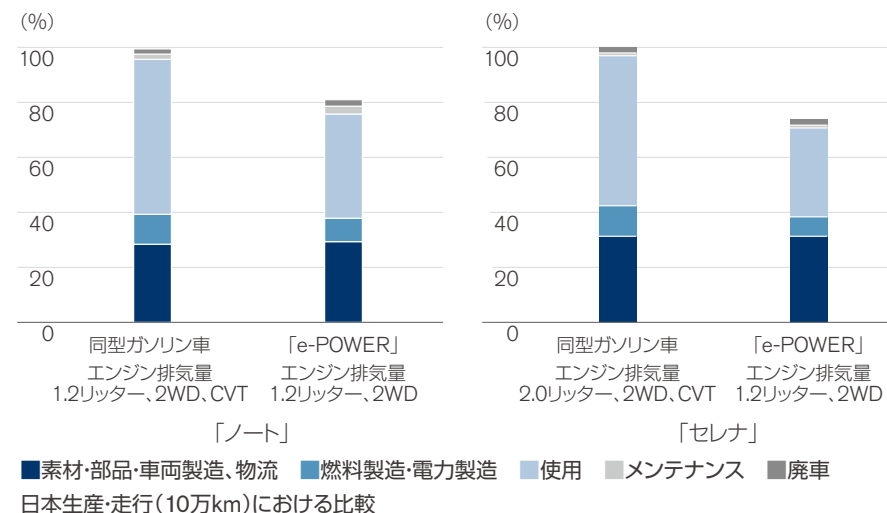
*1 欧州生産・走行(15万km)における比較
*2 米国生産・走行(12万マイル)における比較

「e-POWER」におけるLCA比較

2016年に新パワートレインの「e-POWER」を投入し、ライフサイクルにおける環境負荷を低減しながら車両の電動化をさらに推進しています。

例えば、「ノート e-POWER」「セレナ e-POWER」では同型のガソリン車と比較して19%、27%以上のCO₂排出の削減を達成しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量 (CO₂, CH₄, N₂O など)



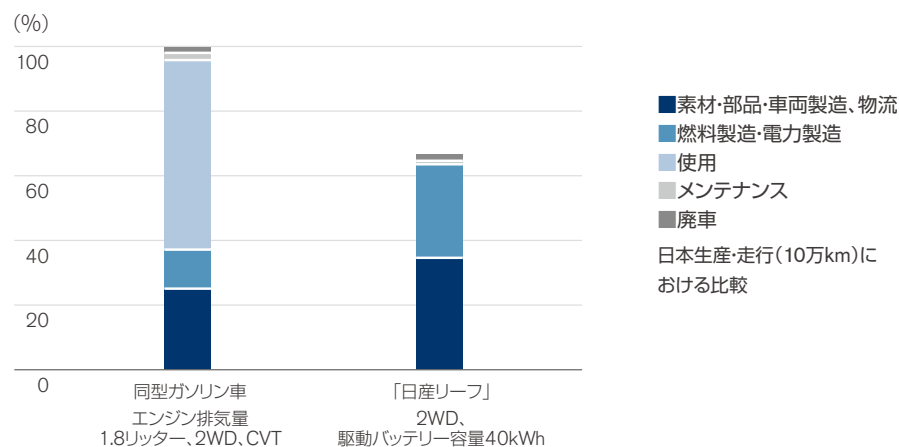
日本生産・走行(10万km)における比較

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

新型「日産リーフ」におけるLCA比較

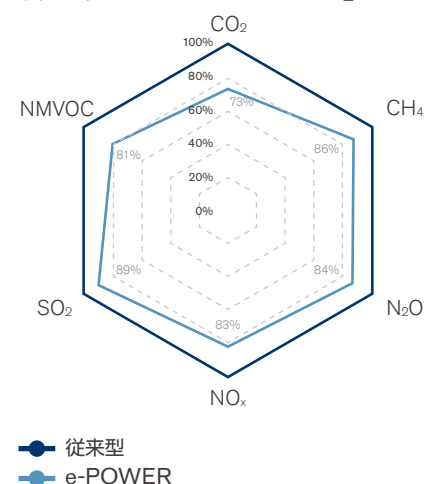
新型「日産リーフ」は日本の同型のガソリン車と比べ、ライフサイクルにおけるCO₂排出量を約32%削減しています。EVの製造段階でのCO₂等価排出量を抑制するために、材料の歩留まりや生産工程の効率向上、さらにリサイクル由来の原材料の活用といった活動を継続して推進しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量 (CO₂, CH₄, N₂O など)



ライフサイクル評価における地球温暖化以外の貢献

新型「セレナ e-POWER」のライフサイクル評価



日本生産・走行(10万km)における比較

大気汚染、海洋酸性化、富栄養化といった社会的懸念が高まることを背景に、日産はLCA評価のスコープを温室効果ガス以外の化学物質へと拡大しています。試算結果によると、新型「セレナ e-POWER」は現行のガソリンエンジン車と比較し、削減対象とする全化学物質において11~27%の排出量削減をライフサイクルで達成しており、総合的な環境貢献を示す結果を得ることができました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49	GRI301-1	GRI302-1	GRI303-1	GRI305-1	GRI305-2	GRI305-7	GRI306-1
							GRI306-2

マテリアルバランス

投入量

(年度)

	単位	2019	2020
原材料	ton	5,818,699	4,665,300
エネルギー	MWh	8,313,893*	7,655,514
うち再生可能エネルギー	MWh	166,893*	246,998
水	1,000m ³	23,656*	21,159

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

生産量／排出量

(年度)

	単位	2019	2020
車両生産			
グローバル生産台数	千台	4,757	3,634
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,879,864*	2,542,442
排水量	1,000m ³	15,391*	13,624
エミッション			
NO _x (窒素酸化物)	ton	380	364
SO _x (硫黄酸化物)	ton	14	10
VOC (揮発性有機化合物)	ton	6,465	4,742
廃棄物発生量			
リサイクル量	ton	193,105*	146,621
廃棄物最終処分量	ton	6,365*	6,539

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境保全コスト

(年度)

	単位	2019		2020	
		投資	コスト	投資	コスト
総額	百万円	2,538	183,578	1,822	151,675
事業エリア内コスト	百万円	15	1,790	15	1,601
上・下流コスト	百万円	0	639	0	517
管理活動コスト	百万円	0	8,973	0	12,131
研究開発コスト	百万円	2,523	172,011	1,807	137,296
社会活動コスト	百万円	0	146	0	92
環境損傷対応コスト	百万円	0	19	0	39

(年度)

	単位	2019	2020
総額	百万円	6,207	5,466
費用削減額	百万円	540	408
収益額	百万円	5,667	5,058

* 環境保全コストは環境省の「環境会計ガイドライン」に準じて算出され、日本国内の活動分のみを示しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

社会性データ

GRI102-7 GRI102-8 GRI102-22 GRI102-41 GRI102-49 GRI401-1 GRI402-1 GRI405-1
GRI405-2

従業員データ

(年度)

		単位	2018	2019	2020
日産自動車(株)					
従業員数		人	22,791	22,717	22,827
	男性	人	20,269	20,100	20,199
	女性		2,522	2,617	2,628
平均年齢		歳	41.8	41.4	41.6
	男性	歳	42.0	41.8	42.0
	女性		38.2	38.3	38.5
勤続年数		年	18.4	17.7	16.9
	男性	年	18.9	18.1	17.4
	女性		14.3	13.9	13.4
離職率*1		%	6.2	6.6	4.6
	自己都合	%	2.0	3.1	2.4
平均年間給与*2		円	8,154,953	8,102,672	7,965,467
障がい者雇用率		%	2.30	2.22	2.33
育児休職取得者数		人	378	379	413
	男性	人	38	44	96
	女性		340	335	317
男性の育児休職取得率*3		%	6	7	24
育児休職復職率		%	97.3	95.6	98.3
	男性	%	100	97.2	100
	女性		96.7	95.2	96.6
介護休業取得者数		人	6	7	17
	男性	人	4	3	13
	女性		2	4	4
年休取得日数		日	19.0	19.5	17.5

年休取得率		%	97	99	89
平均残業時間		時間/月	23.90	24.16	18.75
組合員総数*4		人	25,789	26,316	26,503
管理職:女性人数		人	320	325	334
	女性比率	%	10.4	10.1	10.4
うち部長職以上: 女性人数		人	79	80	92
	女性比率	%	7.6	7.4	8.6
執行役員:女性人数		人	2	2	2
	女性比率	%	4.1	4.1	3.9
取締役:女性人数		人	1	2	2
	女性比率	%	12.5	16.7	16.7
うち社内取締役: 女性人数		人	0	0	0
	女性比率	%	-	-	-
うち社外取締役: 女性人数		人	1	2	2
	女性比率	%	33.3	28.6	28.6
監査役:女性人数		人	0	1	1
	女性比率	%	-	20	20
新規採用人数		人	1,758	1,479	828
	男性	人	1,479	1,296	715
	女性		279	183	113

*1 離職率合計には、定年退職者を含む

*2 平均年間給与は賞与および基準外賃金を含む

*3 男性の育児休職取得率=対象年度に育児休職を1日以上取得した男性従業員数÷対象年度に配偶者が出産した男性従業員数

*4 組合員総数には、一般従業員、シニアパートナー/シニア社員(定年退職後の再雇用者)、契約従業員を含む。日産自動車九州(株)を含む

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI405-1

連結ベース

(年度)

	単位	2018	2019	2020
連結ベース				
連結従業員数*	人	138,893 (19,240)	136,134 (22,761)	131,461 (16,092)
日本	人	58,966	58,134	58,577
北米	人	36,594	36,148	35,120
欧州	人	16,119	14,824	13,891
アジア	人	20,872	21,023	18,745
その他海外地域	人	6,342	6,005	5,128

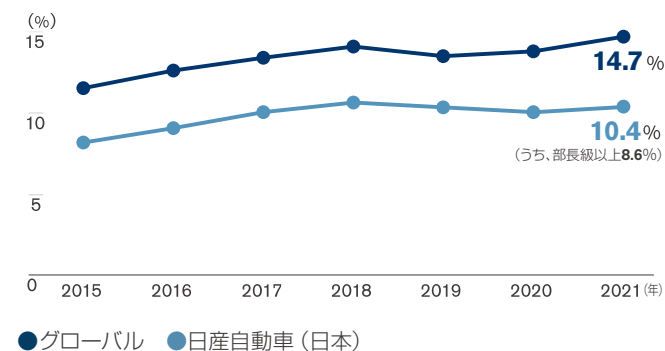
* ()内は臨時雇用者数で外数

労働組合の状況

日産自動車株式会社の従業員は日産自動車労働組合に加入し、同組合は全日産・一般業種労働組合連合会を上部団体とし、全日本自動車産業労働組合総連合会を通じ、日本労働組合総連合会に加盟しています。労使関係は安定しており、2021年3月末現在の組合員総数は日産自動車九州を含め2万6,503名です。なお、日本国内のグループ各社においては大半の企業で会社別労働組合が存在し、全日産・一般業種労働組合連合会を上部団体としています。また、海外のグループ各社では、各国の労働法・労働環境に即して、従業員の労働組合選択の権利を尊重しています。

ダイバーシティ&インクルージョン

女性管理職比率の推移



目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

これまでの主な外部評価*

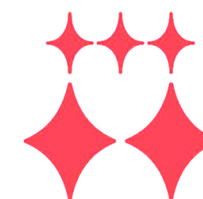
年	タイトル	主体団体
2020	「PRIDE 指標」4年連続ゴールド受賞	work with Pride
2020	Great Place to Work®2年連続認定*1	Great Place to Work® Institute (カナダ)
2020	Best LGBT Places to Work 2021 認定*2	Human Rights Campaign (メキシコ)
2017	Corporate Equality Index で100点(満点)を5年連続で達成*3	Human Rights Campaign (米国)
2017	「えるぼし」3段階目に認定	厚生労働省神奈川労働局
2017	「なでしこ銘柄」に5年連続で選定	経済産業省と東京証券取引所グループ共同
2015	「女性活躍パワーアップ大賞」奨励賞受賞	公益財団法人日本生産性本部
2015	「プラチナくるみん」を取得	厚生労働省神奈川労働局
2015	「第15回テレワーク推進賞優秀賞」受賞	一般社団法人日本テレワーク協会
2015	「女性が輝く先進企業表彰 内閣府特命担当大臣賞」受賞	内閣府男女共同参画局
2014	「DiversityInc Top 25 Noteworthy Companies for Diversity & Inclusion」に選定*4	DiversityInc (米国)
2013	ダイバーシティ経営企業100選選定	経済産業省
2013	「2013J-Win ダイバーシティ・アワード」アドバンス部門大賞受賞	NPO 法人 J-Win
2008	「カタリストアワード」受賞	NPO 法人カタリスト (米国)

* 米国では上記記載以外にも外部評価受賞あり

*1 NCIが受賞

*2 エヌアールファイナンスメキシコ (NR Finance Mexico)が受賞

*3、*4 NNAが受賞

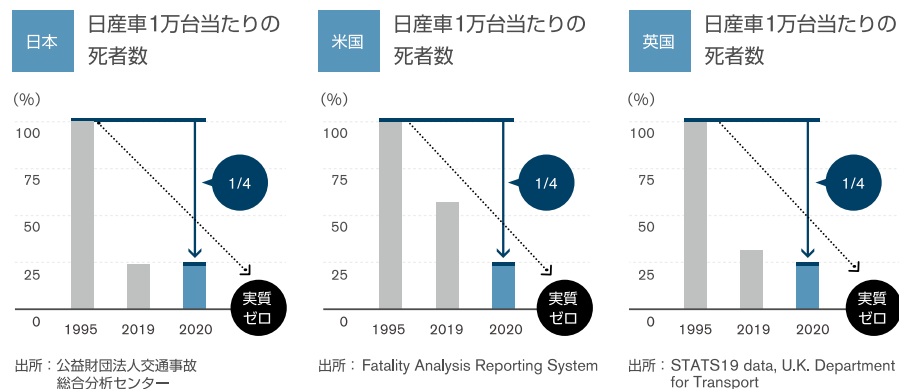


女性が輝く
先進企業表彰

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

交通安全

日産車1万台当たりの死者数



日産の安全技術の拡充と獲得した外部評価

2015年1月に「インテリジェント エマージェンシーブレーキ」の採用車種を拡大し、2015年度末には、日本で発売している電気自動車、商用車を含むほぼすべてのカテゴリーで搭載を完了するとともに、主要車種への標準装備も完了しました。北米では、「パスファインダー」「アルティマ」「ローグ」などのモデルに標準装備、欧州では「ジューク」「エクストレイル」「キャシュカイ」「マイクラ」などの主要車種に採用しています。

また、各地域で行われている公的機関および政府による試験において、高い安全評価を獲得しています。特に日本では、2020年度よりJNCAP*1は新たに

「自動車安全性能2020」として、衝突安全性能評価と予防安全性能評価および事故自動緊急通報装置の3つによる総合評価となり、総合評価最高の5★を獲得するには、それぞれの評価で最高ランク（事故自動緊急通報装置は装備要件）の獲得が必要となりました。この総合評価において「日産デイズ」は軽自動車でも唯一、最高の5★を獲得。トータルな安全性の高さが実証されました。また2018年度より開始された国土交通省による先進安全技術の性能認定制度においても、2020年度から対象となる自動車や装置が拡充され、「インテリジェント エマージェンシーブレーキ」「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」を装備した9車種（「日産デイズ」「日産ルークス」「ノート」「セレナ」「日産リーフ」「マーチ」「クリッパー」系）・25型式が認定を受けました。

主な外部安全評価結果(2020年評価分)

地域	外部評価	車種	レーティング
日本	JNCAP*1 「自動車安全性能2020」	「日産デイズ」	総合5★
		「日産キックス」	総合4★
米国	NCAP*2	「日産リーフ」「リーフプラス」「ムラーノ」「アルティマ」「マキシマ」「セントラ」「ヴァーサ」「ローグスポーツ」	総合5★ (2021モデルイヤー)
		インフィニティ「QX80」「フロントティア(クルーキャブ)」「タイタン(クルーキャブ)」「ローグ」「日産キックス」	総合4★ (2021モデルイヤー)
	IIHS*3	「マキシマ」「アルティマ」「ローグ」「ムラーノ」「セントラ」	2021 Top Safety Pick+ 2021 Top Safety Pick
中国	C-NCAP	「ティアナ」	5★

*1 JNCAP: Japan New Car Assessment Program の略。国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)による自動車アセスメントプログラム

*2 NCAP: New Car Assessment Program の略。米国運輸省道路交通安全局(NHTSA:National Highway Traffic Safety Administration)の新車アセスメントプログラム

*3 IIHS: Insurance Institute for Highway Safety の略。米国道路安全保険協会

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI201-1 GRI203-2

製品安全および品質

2020年度 リコール実績*1

国・地域	件数(件)	台数(千台)
日本	14	277
北米	21	3,270
欧州	11	352
その他	21	93
グローバル	49*2	3,993

*1 出典は社内データのため、当局公表データと異なる場合があります。

*2 リコール措置案件ごとに1件とカウントした件数のため各国・各地域のリコール件数合計≠グローバル件数となります。

人財育成

GRI404-1

日産自動車株式会社の研修実績

(年度)

研修実績にかかわる指標	2018	2019	2020
年間受講人数(人)	241,674	263,240	330,784
総受講時間(時間)	482,103	590,696	549,490
従業員1人当たりの受講時間(時間)	21.5	26.0	24.3
受講満足度(最高点:5.0)	4.2以上	4.2以上	4.2以上
従業員1人当たりの投資(円)	86,000	90,000	83,000

地域社会への貢献

2020年度の社会貢献活動の実績

2020年度 グローバル社会貢献支出額: 約19.9億円

社会貢献支出には以下の費用を含む

- ・社会貢献活動費は社会貢献活動を実施するために支出した経費(労務費は除く)
- ・寄付は社会貢献を目的とした現金寄付および非営利組織の年会費などの支出
- ・現物寄付は金額に換算
- ・スポンサーシップ・その他は社会貢献を目的とした各種イベントなどのスポンサー費

2020年度 グローバル社会貢献支出額(内訳)

	社会貢献活動費	寄付	現物寄付(金額換算値)	スポンサーシップ その他	合計
金額(百万円)	821	726	213	232	1,992
比率(%)	41.2	36.5	10.7	11.6	100

	災害名	2020年度実績
	自然災害被災地に対する主な支援	<p>令和2年7月豪雨(日本)</p> <p>ピコール地方、カガヤン州での台風による被災地支援(フィリピン)</p>

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

ガバナンスデータ

GRI102-22 GRI405-1

コーポレートガバナンスの概要(2021年3月末時点)

会社組織形態	指名委員会等設置会社
取締役会の議長	独立社外取締役
取締役の人数	12人
うち独立社外取締役	7人
うち女性取締役	2人
指名委員会委員長	独立社外取締役
指名委員会の人数	6人
うち独立社外取締役	5人
うち女性取締役	1人
報酬委員会委員長	独立社外取締役
報酬委員会の人数	4人
うち独立社外取締役	4人
うち女性取締役	2人
監査委員会委員長	独立社外取締役
監査委員会の人数	5人
うち独立社外取締役	4人
うち女性取締役	1人

* コーポレートガバナンスに関する詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.nissan-global.com/JP/IR/LIBRARY/GOVERNANCE/>

2020年度(2020年4月～2021年3月)における 取締役会および委員会の出席状況

取締役会		委員会					
		指名委員会		報酬委員会		監査委員会	
取締役会 開催総数	開催1回 当たりの 平均参加率	開催 総数	開催1回 当たりの 平均参加率	開催 総数	開催1回 当たりの 平均参加率	開催 総数	開催1回 当たりの 平均参加率
13回	100%	9回	100%	14回	100%	13回	100%

取締役スキルマトリクス

GRI102-27

取締役構成について

当社の取締役会は、多様な視点を持って経営の基本方針を決定するとともに、執行役などの職務執行を監督する役割を担っています。

取締役会を構成する取締役は、国際性やジェンダーにおける多様性があり、また、各個人が異なる専門性を有しており、全体として活発な議論と迅速な意思決定を実現することを目指しています。また、構成員数の過半数を、独立性を有する社外取締役とし、取締役会の議長も独立性を有する社外取締役とすることで、社外取締役によりけん引される環境を創出しています。2020年2月以降、取締役会は取締役12名で構成されており、そのうち7名が社外取締役となっています。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

		グローバル マネジメント	自動車業界	政府機関	法務/ リスクマネジメント	ガバナンス	財務/会計	CSR	製品/技術	セールス/ マーケティング
1	木村 康	○				○	○		○	○
2	ジャンドミニク スナール	○	○			○	○	○		
3	豊田 正和	○		○	○	○		○		
4	井原 慶子	○	○			○			○	○
5	永井 素夫	○			○	○	○	○		
6	ベルナール デルマス	○	○			○			○	○
7	アンドリュー ハウス	○				○	○		○	○
8	ジェニファー ロジャーズ	○			○	○	○	○		
9	ピエール フルーリオ	○		○	○	○	○			
10	内田 誠	○	○		○		○		○	
11	アシュワニ グプタ	○	○				○		○	○
12	坂本 秀行	○	○		○	○			○	

* コーポレートガバナンスに関する詳細はこちらをご覧ください
<https://www.nissan-global.com/JP/IR/LIBRARY/GOVERNANCE/>